

案内

—— スチューデント・ウィーク ——

今週はスチューデント・ウィークとして全ての礼拝で、学生の中のクリスチャンの方々に証詞をしていただきます。証詞とは、その人がいつどのようにキリスト教信仰を持つようになったのか、キリスト教と出会う前と後では生き方がどのように変化したのかなどを、自分の言葉で語って伝えることです。

今年度は、キリスト教推薦入学生の、青山みどり会(教育人間科学部教育学科)、ピステイス(経済学部)、アポストレー(法学部)、イクサス会(経営学部)、エルピス(国際政治経済学部)、エクレシア(総合文化政策学部)、サピエンティア(理工学部)、スタウロス(社会情報学部)から9名が証詞をします。また、3名のオルガニスト養成講座受講生が奏樂の奉仕をします。

青山学院クリスマス・ツリー点火祭 ～降誕を待ち望む礼拝～

日時 11月25日(金) 16時40分～(5時限目は17時20分から) 5時限目の授業を短縮して行います。
場所 青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂前
相模原キャンパス ウェスレー・チャペル前
イエス・キリストの降誕を待望する「待降節」を期して、各キャンパスのクリスマス・ツリーに灯をともします。

メサイア演奏会 チャリティ・コンサート

日時 11月26日(土) 14時00分～
場所 相模原キャンパス ウェスレー・チャペル
指揮 大井 哲哉 管弦楽 Händel Chamber Orchestra
合唱 青山学院オラトリオ・ソサエティ OBOG会合唱団
入場無料

平和の祈り チャリティ・コンサート

「セザール・フランク生誕200年記念」

日時 12月3日(土) 14時30分～16時30分
場所 相模原キャンパス ウェスレー・チャペル
オルガン 坂戸 真美 ヴァイオリン 矢部 達哉
入場券 一般3,000円、学生1,000円 購入はこちらをご覧ください QRコード▶



メンバーを募集しています

聖歌隊、ハンドベル・クワイア、ゴスペル・クワイア、青山キリスト教学生会(ACF)、コンテナラリー礼拝学生奉仕に関心のある方は、宗教センター(青山間島記念館1階、相模原ウェスレー・チャペル1階)までお申し出ください。

「キリスト教活動のしおり」をご覧ください

宗教センターのホームページから「キリスト教活動のしおり」を見ることができます。

<https://www.aoyamagakuin.jp/outline/christ/relation.html> QRコード▶



宗教センター問合せメールアドレス: agcac@aoyamagakuin.jp

青山学院大学礼拝週報

2022.11.21.

神の国節第24週

No.27

スチューデント・ウィーク

教会史の人々 [11]

「マーティン・ルーサー・キング・ジュニア」
Martin Luther King, Jr.(1929-1968)

マーティン・ルーサー・キング・ジュニアは、アメリカの黒人差別撤廃を求める公民権運動を指導した牧師として、世界的に名の知られた牧師です。キングの生涯の原点は、幼少年時代に受けた差別経験と、それを自然に反する人為的なものと受け止め、人間存在の素晴らしさを教えてくれた母親の信仰にありました。



キング・ジェームズ版英語聖書復刻版(宗教センター蔵)

キングはボストン大学神学部で博士号を取得後、アラバマ州モントゴメリのデクスター教会の牧師に就任しました。ほどなく一人の黒人女性の差別への抗議から始まった「モンゴメリー・バス・ボイコット運動」の中心的人物としてキング牧師は活動し、その精神的指導者となります。

彼の行動の中心にはイエス・キリストの愛の精神があり、その実践は終始「非暴力主義」によって担われました。愛こそが抵抗運動の基準であり、それは差別者である白人の良心をも動かすものであることをキングは強調しました。

その抵抗運動の中で、キング牧師は家族の命をもねらわれる脅迫や嫌がらせに晒されましたが、かえってそのことが非暴力抵抗への情熱をかきたて運動の勝利に繋がっていきました。キングは39歳で凶弾に倒れましたが、その愛に基づく非暴力抵抗の思想は今も現代社会に大きな希望と指針を与え続けています。

今年度の主題聖句

喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい。

(ローマの信徒への手紙 第12章15節)

今週の聖句

「神は光であり、神には闇が全くないということです。」(ヨハネの手紙 一 第1章5節)

解説：アウトドアキャンプをする時には、ランタンが必須です。ランタンは周りが暗くなるほど明るさを発揮して、光を照らします。聖書が、神は光である、という時、それは神には何の曇りもなく、罪や汚れのないお方であるという意味です。そんなお方の前にでると、私たちの心の内の闇は照らされ、普段あまり見えない罪や汚れも浮かびあがります。だから、私たちの誰しものが神の前に出るために、罪の赦しが必要なのだと聖書は教えるのです。

青山キャンパス／ガウチャー記念礼拝堂

(月～金・10時30分～11時)

11月21日(月)

司式 八木 隆之
証詞 名取 天音
(教育人間科学部4年)

前奏 奏楽 教1 香西 愛
坂戸 真美

招詞
讃美歌 (灰色) 484 (1節)
聖書 マタイ 7:7
(新11頁)

証詞 「道は示されている」
祈祷
頌栄 (灰色) 29
祝祷
後奏

11月22日(火)

司式 島田 由紀
証詞 佐々木 萌
(経済学部4年)

前奏 奏楽 文4 長谷川桃子
越川伊豆美

招詞
讃美歌 (灰色) 528 (2節)
聖書 詩編 119:105
(旧947頁)

証詞 「小さな信仰の灯火」
祈祷
頌栄 (灰色) 24
祝祷
後奏

夕礼拝／短大礼拝堂

(火・18時30分～19時)

夕礼拝

11月22日(火)

コンテンポラリー礼拝

聖書 ヨハネ 16:33
(新197頁)

証詞

「世に勝っちゃった」

沈 禱 瀧
(理工学部2年)

ワーシップ・ディレクター
塩谷 達也

相模原キャンパス／ウェスレー・チャペル

(月～金・10時30分～11時)

11月21日(月)

司式 大宮 謙
証詞 橋本 莉胡
(総合文化政策学部2年)

前奏 奏楽 堀井美和子
招詞

讃美歌 (茶色) 9 (1節)
聖書 ヨブ 5:1
(旧767頁)

証詞 「強さとは
どこからくるのか」

祈祷
頌栄 (茶色) 544
祝祷
後奏

11月22日(火)

司式 吉岡 康子
証詞 寺田 瑠衣
(法学部4年)

前奏 奏楽 徳田 佑子
招詞

讃美歌 (茶色) 145 (1節)
聖書 Iコリント 12:2,3
(新309頁)

証詞 「残ったもの」

祈祷
頌栄 (茶色) 539
祝祷
後奏

11月23日(水)

(勤労感謝の日)

11月23日(水)

(勤労感謝の日)

11月24日(木)

司式 左近 豊
証詞 高津 寧
(国際政治経済学部4年)

前奏 奏楽 文3 浅利 航希
松浦 光子

招詞
讃美歌 (灰色) 461 (1節)
聖書 Iテサロニケ
5:16～18
(新370頁)

証詞 「あしあと」

祈祷
頌栄 (灰色) 27
祝祷
後奏

11月25日(金)

司式 高砂 民宣
証詞 大堀 勇翔
(経営学部4年)

前奏 奏楽 徳田 佑子
招詞

讃美歌 (茶色) 312 (1節)
聖書 ルカ 10:25～37
(新125頁)

証詞 「世界と私を繋いだ
キリスト教」

祈祷
頌栄 (茶色) 541
祝祷
後奏

11月24日(木)

司会 地1 峯野 陶子
証詞 山本 達季
(社会情報学部4年)

前奏 奏楽 作井清雅子
招詞

讃美歌 (灰色) 493 (1節)
聖書 エレミヤ 29:10～14
(旧1215頁)

証詞 「コイノニア」

祈祷
頌栄 (灰色) 25
祝祷
後奏

11月25日(金)

司式 福嶋 裕子
証詞 柴田 励
(社会情報学部4年)

前奏 奏楽 鷲 晶子
招詞

讃美歌 (茶色) 285 (1節)
聖書 詩編 55:23
(旧872頁)

証詞 「イエス様に委ねて」

祈祷
頌栄 (茶色) 540
祝祷
後奏

聖書(旧):旧約聖書
聖書(新):新約聖書

讃美歌(灰色):讃美歌21
讃美歌(茶色):讃美歌・讃美歌第二編